

**医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業  
地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）**

**「成果目標シート」作成要領（雛形含む）**

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

国際事業部

2016年9月13日 改訂

# 成果目標シート作成に際しての注意事項

1. 『成果目標シート』は、研究の主要な達成すべき成果目標を、図表として示したものです。
2. SATREPSが研究に期待する内容（地球規模課題の解決への貢献、相手国ニーズの充足、我が国への貢献等）に向け、達成すべき成果目標（知見、技術・材料・システム、提言など）を具体的かつ定量的に記載してください。
3. 本シートは、研究者間の成果目標の共有と具体的な研究活動の策定・推進のため作成いただくものですが、AMEDの進捗確認・評価の資料としても利用します。中間評価以降、本シートはAMEDホームページ上に評価報告書とともに公開します。
4. 本シートは、研究途中でも研究内容の変更などに応じて、研究主幹の承認を得た上で変更することが可能です。
5. 各項目は雛形（p5に記載）を参考に記載ください。「日本への貢献・研究成果」は、日本の科学技術の発展、産業・社会生活・政策への貢献などを記載するもので、記載内容については相手国側との調整は必要ありません。

# 成果目標シートに記載項目

上位目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該プロジェクトが最終的に目指すもの（プロジェクト終了後5－10年で実現することを想定）</li> <li>・社会実装に至るまでの道筋</li> </ul>
努力目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上位目標へ進むためのステップ 目標</li> </ul>
プロジェクト目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトで得られる知見、開発される技術・システム、あるいは提言など（プロジェクトで実施する活動や研究内容ではありません）</li> <li>* 達成レベルを具体的かつ定量的に記載（機能、精度、経済性など）してください。</li> <li>* プロジェクトの研究項目の設定、実験計画の立案、実施体制の構築、進捗の管理、資源投入の決定などは、この目標を基準に行うことになります。</li> </ul>
マイルストーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト目標に至るまでに達成されるべき研究成果あるいはそれらの構成要素</li> <li>* 達成レベルがわかるように具体的かつ定量的な仕様を記載ください。</li> <li>・マイルストーンが達成目標の何%になるかを研究項目別に設定</li> </ul>
日本への貢献・研究成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本へ影響を及ぼしうる学際的な研究成果や期待できる日本への具体的な貢献</li> <li>* 具体的な項目は、“日本政府、社会、産業への貢献”、“科学技術の発展”、“知財の獲得、国際標準化の推進、生物資源へのアクセス等”、“世界で活躍できる日本人人材の育成”、“技術及び人的ネットワークの構築”、“成果物（提言書、論文、プログラム、マニュアル、データなど）”で、この順番で記載ください。成果として記載すべきものが無い項目は“該当なし”としてください。</li> <li>* 本項目の記載内容は、相手国側と調整する必要はありません。</li> </ul>

# 成果目標シート 雛形

上位目標

当該プロジェクトが最終的に目指すもの（プロジェクト終了後5-10年で実現することを想定）

上位目標へ進むためのステップ目標

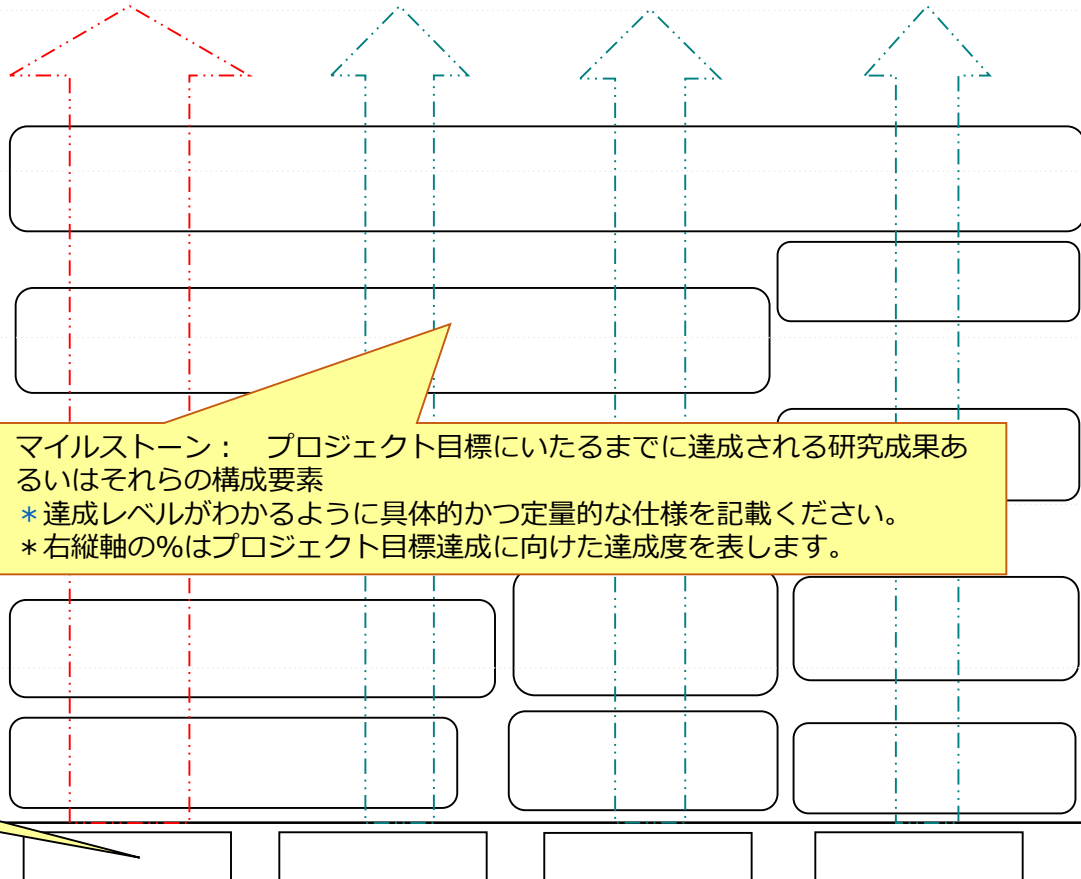
プロジェクト目標

プロジェクトで、得る知見、開発する技術・システムないし提言など（研究期間内で達成すべきもの）

## 日本への貢献・研究成果

日本へ影響を及ぼしうる学際的な研究成果や期待できる日本への具体的な貢献

**\*わが国への貢献について記載頂くため、その記載内容は、相手国側と調整する必要はありません。**



研究項目を記載ください

# 成果目標シート（作成例）

上位目標

研究課題名	結核及びトリパノソーマ症の診断法と治療薬開発
研究代表者名 (所属機関)	●● ●●(■●大学 教授)
研究期間	H20採択 (H21年11月15日～H25年11月14日)
相手国名	ザンビア共和国
主要相手国研究機関	ザンビア大学付属教育病院 ザンビア大学獣医学部

迅速かつ安価な診断法の開発により対象疾病罹患者の減少に資する

安価で副作用の少ない治療薬の開発によりトリパノソーマ症による死亡者の減少に資する

開発された診断法が、ザンビア国の結核診断ネットワークで採用される

Phase 1を行うに値する薬剤候補の同定

## プロジェクト目標

途上国における実用性が確認された迅速診断ツールの開発

前臨床試験を実施するに値する薬剤候補化合物の作製

## 日本への貢献・研究成果

日本政府、社会、産業への貢献	迅速診断法の導入により喫緊の地球規模課題である結核およびトリパノソーマ症の拡大・蔓延対策が可能となり、ザンビアを訪れる邦人の感染リスクを低減できる。
科学技術の発展	結核およびトリパノソーマ症診断用LAMP法の乾燥キット化法の開発は、当該感染症のみならず、他の感染症の検査技術の向上につながる
知財の獲得、国際標準化の推進、生物資源へのアクセス等	<ul style="list-style-type: none"> <li>結核検体(喀痰、尿)バンク</li> <li>結核菌株バンク</li> <li>トリパノソーマ症検体(ヒト血液、動物血液、ツェツェバエ)バンク</li> <li>トリパノソーマ株バンク</li> </ul>
世界で活躍できる日本人人材の育成	国際的に活躍可能な日本側の若手研究者の育成(国際会議への指導力、レビュー付雑誌への論文掲載など)
技術及び人的ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>結核検体収集ネットワークの構築</li> <li>トリパノソーマ症検体収集、検査ネットワークの構築</li> </ul>
成果物(提言書、論文、プログラム、データベースなど)	<ul style="list-style-type: none"> <li>カウンターパートを筆頭著者とするレビュー付論文</li> <li>BCL3結核ラボ使用マニュアル</li> <li>多剤耐性結核の頻度に関するデータ</li> </ul>

協力機関でのトライアルにより、診断法の実用性を確認

家畜レベルの大動物を用いて活性および安全性試験をクリアした最終候補化合物の選定

既存検査法との比較により特異性および感受性を確認

既存検査法との比較により特異性および感受性を確認

既存検査法との比較により特異性および感受性を確認

大量合成系の開発

LAMP法による迅速遺伝子診断ツールを開発

診断法開発に有用な臨床分離株の遺伝子データの取得

診断法開発に有用な臨床分離株の遺伝子データの取得

モデルマウスを用いた候補化合物の実験系の確立

遺伝子データに基づいた薬剤耐性菌の試験法を開発

LAMP法による迅速遺伝子診断ツールを開発

安全性評価のためのin vitro評価系の確立

抗Tryps活性を有するリード化合物を系統的に改変した化合物群の合成

T B 診断法

薬剤耐性 T B 診断法

Tryps 診断法

Tryps 薬剤候補

100%

80%

60%

40%

20%

0%

# (参考) AMEDの成果目標シートとJICAのPDM の位置付けについて

1. AMEDとJICAでは評価の視点が異なりますので、必ずしもAMEDの成果目標シートとJICAのPDMの文言を全て合わせる必要はありません。
  2. しかしながら、**プロジェクト目標**は詳細計画策定調査（暫定期間実施）前に日本側関係者内部（研究者、JICA及びAMED）で共通認識を確認します。
- \* 以下は、AMEDとJICA両者の定義の相違点です。
- AMEDの上位目標：プロジェクト終了後のアウトカムとして最終的に目指す目標（プロジェクト終了5～10年後）
  - JICAの上位目標：達成されたプロジェクト目標が貢献すると期待される長期の開発目標（プロジェクト終了3～5年後）